

電柱に泣かされる

新川の改修工事

磐炭の動力線其の他見込まぬ 本線卅支線六十の移轉費

夏井川改修の附帯工事として施行される新川の改修は本年度に於て内郷村地内常磐線の鐵橋下流一千九百米を工事中であるが縣では同施工に想ひもよげなかつた電柱移轉に達し約一千万の豫算増加を余儀なくされてゐるが工地上障害の電柱は、

磐炭の動力電線本線二十本、支線三十八本

が最も大もので前記常磐線下流内郷村大字高坂及び緩の地内五百米だけに十數本樹つてゐて河川の擴張から河中に残されるもの並びに堤堰に進入するもの等々の電柱と異なる危険性があるため炭礦側と協定しつゝ工事は進めてゐるが該電柱には地上敷設のもの

四千二百廿圓余の

落とし主は判つたが

拾つて屈けた者がわからぬ 平着のガソリンカーで

石城郡湯本町の桑田村木崎長谷川清七(三三)は今日午前八時五十分平着のガソリンカーで來平し下車の際現金一千圓及び三千二百二十三圓の小切手入り風呂敷包を車内に置き忘れ驛の出口まで來て始めて気づいて蒼くなつて驛

小學青年校の

校長會議

濱三郡の方面會を二月二日平町にて濱三郡小學校長及び青年學校長會は來二月二日午前九時か

鐵材暴騰のご難題

六十枚橋着工延期 三萬六千四百圓の總工費に 百二十噸の鐵材が悩み

石城郡草野村と夏井川の境に架かる夏井川の六十枚橋は豫算過少のため請負者に困難を來たし特に平町堀江工業を指名し總工費三萬六千四百圓で昨年十月中旬に着工向ふ十五ヶ月の工期間を附したが其の後引續く鐵材の暴騰は總鐵筋コンクリート橋の同重量百二十噸だけでも二萬圓に近づき且つ鐵材の拂底に到底見積りが立たず砂利一千二百立米砂六百立米セメント一萬三千袋等々縣の原品支給にも諸物價の騰貴に追ひ詰められ、着手遅延の餘儀なき状態に陥り來る六月頃から本工事に取かゝる豫定を以て目下盛土工だけを進めてゐるが前記六月の着工では落成は十三年度を持越されるであらうと

墓場を荒さねば 溜飲の下らぬ男

狂的白痴な二十七の男

小名濱町滑津地内の共同墓地に於ける石碑と木の墓標を昨二十九日午後一時四十分端から打倒したと墓社の台石を取除いて骨瓶を引き出し石碑に叩きつけて潮戸の破片の遺骨の散亂するのを見て痛快がり立ち去つた男の後の墓地は石碑二十基と木碑二十基が亂雑に散らばつてゐるが同人は同地方にうろついてゐる佐賀縣

退職手当積立金 に關する説導

工場監督官補野野七氏は今日三十日平着に出張し出資日で參集した同業全員に對し午前十時から職工退職手当の積立金等に關して指導説明をなす

解雇の諒問に 答申協議

平町外二ヶ村の水害豫防組合で

瓦葺爆發

石城郡勿來町の山添炭礦に於ける斜坑百二十間下の坑内で昨二十九日午後一時十五分頃突然瓦斯爆發を起し作業中の坑夫は猛激なショックを浴びて石巻車は重傷、荒川一郎今井義春兩名は輕傷を負つたが重傷者は相當の重態である

山添炭礦に

石城郡大浦村地内仁井川川に架かる國道の松葉橋は同河川の改修で工費一萬四千圓を投じ總鐵筋コンクリートに昨年八月以て改修工事中であるが河幅の擴張に架け換へられた同橋は延長五十米有効幅員七米九〇の見事なもので殆んど完成に近づき日中甲川の取付けと共に工費三萬圓のルート變へ取付道路の工事中であつて合計一萬七千圓で落成する初渡り式は二月末になるらしく關係地元では同橋の落成に對して盛んな祝賀を催すべく既に準備中である

平土木委員會

平町土木委員會は來二月一日午前十時から町役場に開催の審議が宇仲町元博覽會場跡に備す東京大相撲興行に對する貸付及び字杉平九三警務高女前の町有不用存地特賣の件を附議する由

丸焼に同情

消防隊隊員金一封

古關師匠の 送別演奏

七日マルトモ

自動車に被害に 損害訴訟

小名濱町宇横町自轉車修繕業小野三郎方原人石城郡赤井村の西小川中島久四郎長男三十七(三)が去る二十四日午後一時半同地内横町から自轉車で走り出た際折柄木通りを疾走して來た郡内横町町の金畑自動車運轉手佐藤久四郎方原運轉手赤津翁人(三)のトラックに突刺されて即死したことは當時所報の如くであるが被害者方は昨年四月居村の粘土山に働いてゐた母が落盤のため死亡した父もまた粘土山で負傷後勢弱に絶えずに居り今年十二才の娘と共に可細い霖しを立て、居るもので力と頼む俸の死に被害者側が金百圓の見舞金で済まそうとしてゐる

青果市況

| | |
|---------|-----|
| 葱 (賣) | 一〇〇 |
| 油 (賣) | 一〇〇 |
| 牛 (賣) | 一〇〇 |
| 千大根 (本) | 一〇〇 |
| 干大根 (本) | 一〇〇 |
| 里 (本) | 一〇〇 |
| 九入根 (本) | 一〇〇 |
| 蓬草 (十把) | 一〇〇 |

日刊伊豆日曜新聞
日刊伊豆日曜新聞
日刊伊豆日曜新聞
日刊伊豆日曜新聞

常識講座
デネレーションは退
化、頽廢、墮落のこと
デレンシーは十一月、
デレンシーは十一月、
デレンシーは十一月、
デレンシーは十一月、

工費一萬七千圓の
松葉橋二月に竣功
大浦村地内國道の一美觀

駐在巡査が之れを發見し行手
馬鹿者で目下木署に留置取調
はさきに鹿島村御代の大佛を
べ中である

たので門人一同の手併に東都
の名人上原眞佐喜、岩田眞佐
喜の贊助の下に來二月七日
午後一時から四時及び午後六
時半から同九時半に三曲演
二回送別の三曲演奏會を開催
の筈であるが番組は左記の如
くである

▲畫の部尺八鉢返 高橋魚
童 藤井透童 雲山獅子飯
高橋童 琴大森武子 三絃
遠藤佐喜野 六段替十岩川
眞佐喜 本手遠藤佐喜野
若菜小野靜童 琴大原あや
子 三絃遠藤佐喜野 三絃
へ 藤井透童 琴大森武子
梅 三絃岩田眞佐喜 春の
曲 高橋魚童 替手岩田眞
佐喜 本手遠藤佐喜野 大
谷せつ子 日の聲 古關立
童 琴遠藤佐喜野 大原あ
や子 三絃岩田眞佐喜
▲夜の部尺八の遺音 飯
高橋童 小野靜童 磯千鳥
高橋魚童 琴遠藤佐喜野
三絃岩田眞佐喜 大原せつ
子 松竹梅 藤井透童 等
大原あや子 大森武子
岩田眞佐喜 本手遠藤佐喜
野 飛月 小野靜童 三絃
岩田眞佐喜 竹生島 飯高
橋童 琴岩田眞佐喜 松本
佐喜世 三絃遠藤佐喜野
尺八本曲文字指揮古關立
童 (以上)

産業方面

桃の栽培 (九)

縣農試行 齋藤技師
城分場

晩五號(始花四月二十六日、満開五月二日、終花五月十三日、袋掛四百五十個、採取期八月十九日、二十日、収量二百五十七個、十二貫五百四十四匁、一個平均四十八匁八、收穫歩合六三・五、樹齡十三年)

大統領(始花四月二十六日、満開五月二日、終花五月十三日、袋掛四百六十個、採取期八月二十日、二十七日、収量三百六十一個、十六貫八百七十三匁、一個平均四十六匁七、收穫歩合八六・八、樹齡十三年)

離核水蜜(始花四月二十三日、満開四月二十九日、終花五月十三日、袋掛六百五十二個、採取期八月二十一、三十一日、収量四百八十九個、二十四貫二百六十九匁、一個平均四十九匁六、收穫歩合七九・〇、樹齡十三年)

傳十郎(始花四月二十五日、満開五月一日、終花五月十三日、袋掛五百個、採取期八月二十三、三十日、収量四百七十七個、十九貫九百二十匁、一個平均四十五匁四、收穫歩合八三・四、樹齡十三年)

蟬桃(始花四月二十三日、満開四月二十九日、終花五月十日、袋掛三十一個、採取期八月二十五日、収量二十七匁、一個平均三十八匁、收穫歩合五・六、樹齡三年)

白桃(始花四月二十六日、満開五月二日、終花五月十三日、袋掛四百十六個、採取期

八月三十一日、九月十一日、
収量三百十五匁、十六貫五百七十三匁、一個平均五十二匁六、收穫歩合七五・七、樹齡十三年)

牛も豚も優良品の自慢
肉の御 三三三屋 平町
用命は 三三三屋 用町

和久井屋
漆器、家具
電話五〇七番

デリーサービス

| | | | | |
|---|------|----|-----|----|
| 日 | 品目 | 価格 | 品目 | 価格 |
| 月 | カツレツ | 〇 | チキン | 〇 |
| 水 | ポーク | 〇 | カツ | 〇 |
| 火 | チヤップ | 〇 | 親カツ | 〇 |
| 水 | フライ | 〇 | ハヤシ | 〇 |
| 木 | メンチ | 〇 | オム | 〇 |
| 金 | カツ | 〇 | ライス | 〇 |
| 土 | ピフ | 〇 | ライス | 〇 |
| 日 | ランチ | 〇 | ライス | 〇 |
| 日 | ランチ | 〇 | ライス | 〇 |

特別サービス
ランチは...

RESTAURANT MARUTOMO
堂食モトルマ

特にマルトモのランチは...
材料のおまかせを願つて居る爲め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出来ませうので御華客様からいつも御好評を戴いて居ります

御来店御召上りの時にも御來客様用仕出し等懇めて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節の材料で美味快捷なものをご用意出来ませうので之を是非に御好評で御座います

電話 二二三

サロんで エピ料理を
始めました

サロンベニエ 天ぷら
三十銭

ベニエライス (天井)
三十五銭

ごうぞ御試食を

レストラン サロ
電話五二二

産科、婦人科
根本醫院

平町南町五二 電話三四番

入院隨時 根本貞次郎
手術室完備 根本貞雄

産科、婦人科
長木村寅次郎
木村病院
電話 六四番

外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄

平町紺屋町
藤沼醫院
電 五〇七番

正確な体温計
なる寒暖計
計量器指定販賣
平町五丁目角
山野邊藥局

入院應需(自炊の便あり)
明雲堂眼科醫院 (電話 六六九)
田町(平三丁目裏川岸通)
「看護見習募集」

物價暴騰の折なれど!
◆弊店特選婦人シヨール◆
大見切大サービス!

| | |
|--------|--------------|
| 友仙地 | 1・70 = 2・00 |
| モーレー地 | 2・00 均一 |
| コーラス地 | 1・50 = 6・00 |
| コーケツ地 | 1・80 = 3・00 |
| ヘルベット地 | 4・00 = 11・00 |

(市價よりも二割以上三割の安値)

ツルヤ (平一四〇)

日科療診
一、齒科 一般
一、口腔外科
一、レントゲン科

保存科、補綴科、歯槽膿漏科、齒列矯正科、小兒齒科、歯槽膿漏科、歯槽膿漏科

院長 日本齒科 中野惠次
日本齒科 西川誠
平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

齋藤齒科醫院
平町田町(藤田女學校前)
東京齒科 齋藤賢三

診療科目
口腔外科、補綴科、保存科、齒列矯正科、小兒齒科、(其他齒科一般)

毎日夜夜診療
日曜午後休み

此の度左記の處に診療所を開業仕り候間此段御通知申上候

良品の廉價は
本店のモットー

金銀、金、銀、銅、鉄、鋼、鉄、鋼、鉄、鋼

價之低く 質之高く

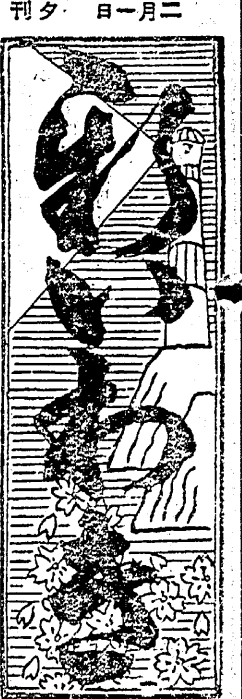
本店 平町

便利で 經濟な 日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ

身元確かで品行方正ですから
何をお任せしてもご安心です

平町字田町十八番(西村屋横町)

◎ 日下家政婦會
會長 日下すい子
電話 七二三番



日刊日曜日... 発行所 石城郡平野町大町二丁目... 電話 二二二

常設講座

アイコノクラストは英語であるが希臘語から出た語で偶像破壊者の意、アイコノクラズムは其の主義で偶像破壊(アイコノクラズム)の精神は自己の欲望を唯一至上としなど云ふ

大金の拾主は

石城郡湯本町桑田の村木商長谷川清三氏が去る三十日午前八時五十分、驛着のガソリンカーから降車の際現金一千圓と三千二百二十三圓の小切手を在中する布呂敷包を忘れ、若くは引返したところ傍らに乗り合せてお乗客から之れを驛員に届けられたが拾ひ主の氏名不詳のため探されてゐたが拾得者は石城郡草野村の泉崎三谷清酒小賣商鈴木巳之吉氏と判り今一は長谷川氏の實母が巳之吉さん宅を訪ねて謝金を添えてお禮を述べた

草野の酒商

今日落主から謝金 石城郡湯本町桑田の村木商長谷川清三氏が去る三十日午前八時五十分、驛着のガソリンカーから降車の際現金一千圓と三千二百二十三圓の小切手を在中する布呂敷包を忘れ、若くは引返したところ傍らに乗り合せてお乗客から之れを驛員に届けられたが拾ひ主の氏名不詳のため探されてゐたが拾得者は石城郡草野村の泉崎三谷清酒小賣商鈴木巳之吉氏と判り今一は長谷川氏の實母が巳之吉さん宅を訪ねて謝金を添えてお禮を述べた

森林窃盜の

石城郡湯本町の大和村新妻一郎(四)は同村の大利達(五)と同大和村常吉(六)を相手取り森林窃盜で告訴したが理由は一郎が村内の明智銀藏に賣却した所有山林三段及び其の立木を昭和十年中藤藤と大和田に伐採されて木炭に焼かれたと云ふに及ぶが調べるに、これは境界の争ひから明智が買つた山林を伐つたものらしいと云はれてゐる

告

七日泊村の貝治 九日田人村の入旅人(以上) 境界争ひらしい

注目された平窪村會 八對四で合併可決

平町との合併を決する平窪村會は既報の如く去る三十日午後一時から招集されたが村内の一部には反対もあることな

石城郡農會の 總會

来る四日評議員會 翌五日に總會開催 石城郡農會では新評議員及び前年度決算につき来る四日平町同會事務所樓上に評議員會を開き翌五日前十時から農會評議員三十四名の總會を開催する

再活動

三坂村に於ける 石城郡三坂村の下三坂區長白石清治(四)の殺害事件犯人は去る十月九日の同事件後一ヶ月三月を経て此の間平野

自給肥委員協議

石城郡湯本村に於ては今日午前十一時村役場で自給肥料實行委員の傳達式を行ひ合せ自給肥料に關する協議會を開催したが郡農會から柴田技手出張した

石城販賣米剝到 出荷一千七百俵

石城郡販賣の今日一日の俵米共販は出荷千六百五十四俵(内大麥二六俵)で漸く出廻り盛期を示してゐるが各入札者の氣配は何れも前日より高値を張るらしく窺はれてゐる各倉庫の出荷は左記の如く尙ほ前年當日の出荷は七百二十九俵で最高は去る十一月二十六日、最低は草野の十一圓七錢であつた

片倉製糸で 五百圓

公會堂建設寄附 平町の片倉製糸では町公會堂の建設寄附交渉を受けてゐたが今日日本社と連繫を以て金五百圓の寄附を決定した

石城養蠶業の 組合總會

来る十三日平町で 石城郡養蠶業組合では来る十三日午前十時平野中女學校に於て開催の筈であるが同會は郡下實行組合二〇から各組合長が出席するので少なくも二百名の出席を見込まれ前年度決算並びに十二年度豫算

大好評

東郡及地方炭礦に 石城郡産の澤庵は泉村の共同栽培加工出荷で東京市場に聲價を博したに相次いで小名濱町賣業校の生産品も名を上げて湯本町入山炭礦その他に大量取引をなしてゐるが近年植田町に於ても同生産に力を入られて附近炭礦から好評を迎ひ同町本年産の最初の注文に入山炭礦へ一萬圓を賣却する約束が出来て来る三月末までに搬入することになつた

馬政第二次計畫の 種馬に準備調査

石城の本調査は六、七月頃 進んじ居り既に上遠野村外數ヶ村の調査を了し明日二日から左記日割を以て引續き調査を行はれるが種馬頭數は三千四百頭に達するものと見られ今二月下旬までは完了の豫定である

大金の拾主は

石城郡湯本町桑田の村木商長谷川清三氏が去る三十日午前八時五十分、驛着のガソリンカーから降車の際現金一千圓と三千二百二十三圓の小切手を在中する布呂敷包を忘れ、若くは引返したところ傍らに乗り合せてお乗客から之れを驛員に届けられたが拾ひ主の氏名不詳のため探されてゐたが拾得者は石城郡草野村の泉崎三谷清酒小賣商鈴木巳之吉氏と判り今一は長谷川氏の實母が巳之吉さん宅を訪ねて謝金を添えてお禮を述べた

草野の酒商

今日落主から謝金 石城郡湯本町桑田の村木商長谷川清三氏が去る三十日午前八時五十分、驛着のガソリンカーから降車の際現金一千圓と三千二百二十三圓の小切手を在中する布呂敷包を忘れ、若くは引返したところ傍らに乗り合せてお乗客から之れを驛員に届けられたが拾ひ主の氏名不詳のため探されてゐたが拾得者は石城郡草野村の泉崎三谷清酒小賣商鈴木巳之吉氏と判り今一は長谷川氏の實母が巳之吉さん宅を訪ねて謝金を添えてお禮を述べた

森林窃盜の

石城郡湯本町の大和村新妻一郎(四)は同村の大利達(五)と同大和村常吉(六)を相手取り森林窃盜で告訴したが理由は一郎が村内の明智銀藏に賣却した所有山林三段及び其の立木を昭和十年中藤藤と大和田に伐採されて木炭に焼かれたと云ふに及ぶが調べるに、これは境界の争ひから明智が買つた山林を伐つたものらしいと云はれてゐる

告

七日泊村の貝治 九日田人村の入旅人(以上) 境界争ひらしい

青果市況

Table with market prices for various fruits like apples, pears, and oranges. Columns include item names and prices per unit.

馬政第二次計畫の 種馬に準備調査

石城の本調査は六、七月頃 進んじ居り既に上遠野村外數ヶ村の調査を了し明日二日から左記日割を以て引續き調査を行はれるが種馬頭數は三千四百頭に達するものと見られ今二月下旬までは完了の豫定である

青果市況

Table with market prices for various fruits like apples, pears, and oranges. Columns include item names and prices per unit.

カドツケ

十二才の少女 石城郡内郷村の御座居住日雇業高木捨藏の長女とみ子(三)假名は父が足を痛めて杖にすがり身となり母の出入夫稼ぎで暮してゐる細い家計のため無断に家を飛び出しては流行頭などを平町の軒毎に叩いて歩き賣つた金で買ひ食ひや活動寫真を見物し自宅に寄りつかないから説諭してくれと今日午前捨藏から平野に願出た

カドツケ

十二才の少女 石城郡内郷村の御座居住日雇業高木捨藏の長女とみ子(三)假名は父が足を痛めて杖にすがり身となり母の出入夫稼ぎで暮してゐる細い家計のため無断に家を飛び出しては流行頭などを平町の軒毎に叩いて歩き賣つた金で買ひ食ひや活動寫真を見物し自宅に寄りつかないから説諭してくれと今日午前捨藏から平野に願出た

カドツケ

十二才の少女 石城郡内郷村の御座居住日雇業高木捨藏の長女とみ子(三)假名は父が足を痛めて杖にすがり身となり母の出入夫稼ぎで暮してゐる細い家計のため無断に家を飛び出しては流行頭などを平町の軒毎に叩いて歩き賣つた金で買ひ食ひや活動寫真を見物し自宅に寄りつかないから説諭してくれと今日午前捨藏から平野に願出た

カドツケ

十二才の少女 石城郡内郷村の御座居住日雇業高木捨藏の長女とみ子(三)假名は父が足を痛めて杖にすがり身となり母の出入夫稼ぎで暮してゐる細い家計のため無断に家を飛び出しては流行頭などを平町の軒毎に叩いて歩き賣つた金で買ひ食ひや活動寫真を見物し自宅に寄りつかないから説諭してくれと今日午前捨藏から平野に願出た

カドツケ

十二才の少女 石城郡内郷村の御座居住日雇業高木捨藏の長女とみ子(三)假名は父が足を痛めて杖にすがり身となり母の出入夫稼ぎで暮してゐる細い家計のため無断に家を飛び出しては流行頭などを平町の軒毎に叩いて歩き賣つた金で買ひ食ひや活動寫真を見物し自宅に寄りつかないから説諭してくれと今日午前捨藏から平野に願出た

カドツケ

十二才の少女 石城郡内郷村の御座居住日雇業高木捨藏の長女とみ子(三)假名は父が足を痛めて杖にすがり身となり母の出入夫稼ぎで暮してゐる細い家計のため無断に家を飛び出しては流行頭などを平町の軒毎に叩いて歩き賣つた金で買ひ食ひや活動寫真を見物し自宅に寄りつかないから説諭してくれと今日午前捨藏から平野に願出た

平窪村の 合併委員會 平町に交渉開始は 来る十五日頃 平町の市制施行に合併を決定した平窪村では去る三十日の村會閉會後直ちに別項所報の委員會を開き問題の村有林三百五十町歩は部落分けとして誰れ何名の所有に移さんとするもの及び合併に對する諸條件の原案作製に邁入したが今一

平窪校の 増築計画 四學級の増設 平窪村が去る三十日の村會に於て合併賛成が成立するや新年度に準備する小學校増築案の如きは市制施行後の方針に

平町明年の小學校費 八萬八千四百圓位か 明後三日學務委員會 平町では来る三日午後一時から學務委員會を開き十二年度豫算に關して審議の筈であるが新年度には第一校に二學級を増加し町内三ヶ小學校の現在學級七十二學級が七十四學級となるらしく此の自然膨脹に對する經常費は前年の八万一千三百六十一圓に約一千二百圓臨時費では物價の騰貴による消耗品費もあるもので前年の四千八百五十六圓より一千圓位を増加し經常臨時合計の八萬六千二百七十四圓の一

木村技師の 縣工事調査 本省豫算關係で 縣土木課の木村道路港灣技師は去月二十九日から石城郡に出張今日に至る四日間江名四倉、久の宮の築港及び石川邊本線の御所街道と小名濱から江名町に通ずる禰白トン

石城販賣米剝到 出荷一千七百俵 石城郡販賣の今日一日の俵米共販は出荷千六百五十四俵(内大麥二六俵)で漸く出廻り盛期を示してゐるが各入札者の氣配は何れも前日より高値を張るらしく窺はれてゐる各倉庫の出荷は左記の如く尙ほ前年當日の出荷は七百二十九俵で最高は去る十一月二十六日、最低は草野の十一圓七錢であつた

片倉製糸で 五百圓 公會堂建設寄附 平町の片倉製糸では町公會堂の建設寄附交渉を受けてゐたが今日日本社と連繫を以て金五百圓の寄附を決定した

石城養蠶業の 組合總會 来る十三日平町で 石城郡養蠶業組合では来る十三日午前十時平野中女學校に於て開催の筈であるが同會は郡下實行組合二〇から各組合長が出席するので少なくも二百名の出席を見込まれ前年度決算並びに十二年度豫算

馬政第二次計畫の 種馬に準備調査 石城の本調査は六、七月頃 進んじ居り既に上遠野村外數ヶ村の調査を了し明日二日から左記日割を以て引續き調査を行はれるが種馬頭數は三千四百頭に達するものと見られ今二月下旬までは完了の豫定である

青果市況 平中央青果市(厘單位) 果市調(厘單位) 高値 安値